

令和4年 第849回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和4年11月18日(金)		開会 15:30 閉会 17:25		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育総務課長	生涯学習 スポーツ課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	大山GL	和久田GL	藤本GL	上林指導主事
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p><b>委員会開会</b></p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>全国的にもコロナの感染者数が増えている。福井県においても急増しており、小浜市においても小中学校からコロナ感染の報告があがっている。これまでと変わらずコロナ感染対策を徹底していただきたい。特に今年はインフルエンザとのダブル流行が懸念されているため予防接種等の対応をして頂ければありがたい。</p> <p><b>1 会議録の承認について</b></p> <p>第848回教育委員会定例会会議録《承認》</p> <p><b>会議録署名人2名の選任</b></p> <p>第849回教育委員会定例会会議録署名委員選任《山崎職務代理者、村上委員》</p>					

## 2 報 告

- ・報告第13号 諸般の報告 令和4年10月13日～令和4年11月17日

行事予定 令和4年11月18日～令和4年12月31日《承認》

教育長 補足として、11月14日の嶺南地区教育長研修会は、今年度は小浜第二中学校の加福校長を講師として、探求的なふるさと学習を進めるための校内体制や取り組み内容等を1時間半にわたって話していただいた。嶺南6市町の教育長からは、非常にクオリティー高い取り組みであると評価を頂いた。今後、小浜中および市内の小学校に還元し、充実した取り組みになっていけばいいと思っている。

また、12月9日には、加斗小学校で拉致問題の特別授業が行われ、松宮校長が直々に授業を行う予定である。

次に、11月13日の短歌大会には、毎年表彰式に参加させて頂いているが、ここ2～3年高校生の出品が増加し、大変瑞々しい若い感性の短歌が多く、嬉しく思っている。若い方が短歌等に触れることで学校教育だけでなく社会教育の観点からも広がっていく事を期待している。

同日には、小浜小学校体育館で「小浜市民障がい者スポーツ体験フェスタ」が開催された。車いすバスケット連盟強化指定選手を講師に招き、約30名の子どもたちが参加して、車いすバスケットを体験した。大変有意義な会であったと報告をうけた。

教育長 12月11日の第九演奏会是何時からか。途中からの参加も可能か。

事務局 15時開演。途中からの参加も可能である。

- ・報告第14号 小浜市教育委員会の事務の管理および執行状況の点検・評価について  
《承認》

村上委員 小学校教育用コンピュータ整備事業の評価が低いのはなぜか。

事務局 パソコン教室のパソコンに関しては、後で整備した児童生徒一人一台の端末整備をしたため、リース料を支払っているが使用頻度が減少している点から評価を下げている。評価委員会からは、現時点では校内における機器の使用状況は、過渡期にあり、今後に向けて合理的な方針を定めているのであれば、今回のような低い評価でなくてもいいのではないかと伺っている。児童生徒一人一台端末は令和7年度を目途に端末の更新を予定しており、その際には現在の状況をしっかりと整理・統合した形でより効率的なICT環境を整備していく旨を説明した。

村上委員 小浜第二中学校の学校訪問では、コンピュータの授業で、二人で1台のパソコンを使用し、プログラミングの学習をしていた。学習の内容によっては、パソコン教室のパソコンも良いのではないかと思った。

上田委員 井上評価委員長から、「東京オリンピック聖火リレー関連事業」と「全国高校総体関連事業」は、単年度開催イベントであることから、今後の方針が示されていないことについて、イベント開催にあたって評価を踏まえてどのような方針で臨むのかを記載いただきたいとあったが、今後、各競技団体または、他の意見等で開催に際しての要望などはあるのか、また、今後どのようにしていこうと考えているのか。

事務局 井上評価委員長からの指摘があったとおり、この単年度開催イベントを踏まえて、どのように活用していくかの方針を示す必要があると答弁した。他団体からの要望などは、今のところ無い。

上田委員 令和3年度の寄附の受け入れ実績では個人からの寄付もあり、喜ばしく思っている。今の段階で令和4年度あるいはそれ以降に、企業・団体からの寄附の申し出はあるのか。

事務局 令和4年度は、現時点で140万円寄付を受け入れている。このほか今後2件120万円の申し出を受けているため、今年度は260万円の寄附金を受け入れる予

定である。昨年度は130万円の寄付実績であったため、今年度は昨年度の倍額となる見込みである。来年度以降については、さらに様々な企業等に本制度を周知することに努めていきたい。

上田委員 社会福祉協議会などは、様々な場所に出向いて寄付を募っているが、我々教育委員もこの学校教育への寄附に関して要請があれば協力していきたい。

教育長 今年度の寄付受入れ件数の内訳は。

事務局 今後の申し出を受けているものも含めて、1団体・4企業から受け入れる見込み。

教育長 昨年度から今年度にかけての寄附は、市内の若い経営者の方々からいただいているものが多く、小浜市の取組みにご理解いただき感謝している。今後さらにPRに知恵を絞って取り組んでいきたい。

上田委員 旭座の落語のイベントだけでなく、文化会館の集客を増やし、文化会館をもっと有効活用して利用者を増やす方法も考えていただきたい。

事務局 文化会館を活用するイベントは、検討・実施していかないといけないと思っている。落語に関しては、旭座は150名から200名程度の集客数で落語に適しており、アマチュアの落語家にとって旭座の高座にあがるのが夢であるということも聞いている。今後は、文化会館でも落語の高座ができないか検討していきたい。

村上委員 旭座(まちなかの駅)の駐車場がいつも満車であり、市立図書館を利用する時に駐車できない状況である。ゲートをつけることはできないか。

事務局 まちなかの駅の駐車可能台数は20台程度で、そのうち、わくわくクラブの駐車場所は決まっているが、他は自由に駐車できるようにしている。関係ない駐車に関しては指導をしているが、移動いただけない場合もある。そのため、市立図書館利用者に、せくみ屋の駐車場の一部に3台分の駐車スペースを確保している。今の所、ゲートを設置することは検討していない。

教育長 まちなかの駅の所管はどの部局なのか。

事務局 施設の管理としては、まちの駅は商工観光課、旭座は文化交流課が担当し、駐車場は商工観光課が担当しており、生涯学習スポーツ課と連携して検討する。

- ・報告第15号 令和4年度11月補正予算の要求について《承認》

### 3 議案

- ・議案第19号 令和4年度12月補正予算の要求について《承認》

教育長 限られた予算の中で緊急度の高いもの、こどもたちが教育活動をしていく中で支障がでるものから優先的に修繕をしてきた。これまで学校要望などがあった手を付けられなかった個所について、12月の補正予算で財源確保の見通しができたため要求するもの。大規模な対策は今後検討していく。

上田委員 前年度も今富小学校・西津小学校の修繕があり偏りがあるように思われる。今回の修繕予算の追加に700万円を見込んでおり、毎年同程度以上の修繕予算が必要ではないかと予想されるが、来年度の予算編成はどのような方針で進めていくつもりか。

事務局 小学校・中学校の修繕は、優先度・緊急度の高いものから取り組んでいる。今富小学校と西津小学校には、優先度の高い修繕があったため取り組んだところであり、状況に応じて他校についても同様の対応をしていく。今年度の追加予算による修繕は、長らく不便を感じていたため今回取り組むことにした。

上田委員 来年度の予算は増額して請求するのか

事務局 当初予算は昨年度予算額程度で要求し、年度途中の状況を踏まえて不足があれば追加補正をして対応していきたい。

上田委員 防火シャッターの修繕について、前年度には支障なかったのか。

事務局 今回の法定点検で火災時に作動するかどうか点検した所、昨年度は作動していた

が、今年度の点検で作動しなかった。

- ・議案第20号 令和5年度採用小浜市奨学資金貸付選考委員会委員の推薦について  
    《村上委員を推薦》

#### 4 教育長報告

- ・学校部活動の地域移行の進捗状況について

今回提示の資料については、県の市町教育長会議で小浜市の取組み、抱えている問題等を県内の他の市町の教育長との情報共有を図るために使用する。今回の定例会で再度確認し、小浜市教育委員会での共通理解を図りたい。小浜市の中学生の部活動への入部率は90%を超えているが、県内の入部率は約70%、大都市圏だと約60%ぐらいだと思われる。嶺南6市町は、嶺北に比べて入部率が高いと思われる。それだけ、学校部活動以外で子ども達がスポーツ等に親しむ環境が整備されていないことを示している。少子化の中で生徒数が減っているが、昔と比べても部活動数は減っていない。人気の部活動もあれば単独で活動できない部活動もある状況である。そういった事から、中学生のスポーツ、文化活動の運営主体を学校から地域へと移行していこうとするものである。現在までの取組みとしては、受け皿となる地域スポーツ団体の24団体に個別にヒアリングを実施し、課題などを取りまとめている。検討委員会は、今年度中に4回は開催したい。来年1月に実施予定の保護者説明会では、これまでの検討委員会の内容等を丁寧に説明していく必要がある。まずは、受け皿になる地域のスポーツ、文化団体、学校、保護者が、中学生のスポーツ・文化環境について学校単位の活動から地域単位の活動へという共通認識を図っていく事が、具体的な課題への解決等の原点になっていくと考える。今後も共通認識を重視しながら具体的な取組みを考えていきたい。今現在、受け皿となる団体の課題として挙げられていることは、指導者不足、大会・試合等の引率、指導者への謝金、団体運営の確立、ケガや損害賠償等の保険、会費額などがあ

る。先行している長崎県長与町でも月3千円の会費を保護者負担としている。これは国の補助を受けているため可能であるが、来年度は補助が得られないため、30,000千円の予算不足となる見込み。この財源をどう確保していくかが今後の課題であると聞いている。小浜市においても財源確保については同様の課題である。新聞記事によれば、部活動ガイドライン改定では当面は学校主体も併存することが示された。人材不足等、特に地方から問題点がでてきているのではないかと思う。

・福井大学嶺南地域教育プログラムについて

嶺南の地元出身教員が少ないという課題を解決していくために、嶺南6市町の教育長が連名で福井大学に対し、入試における嶺南地域枠を設けて欲しいと要望し、今年度より嶺南地域枠で10名の学生が入学した。小浜市からは3名入学した。大学ではそれらの学生を中心として定員最大20名で嶺南地域教育プログラムを実施する。嶺南の教師として教壇に立つ志や力量を高めるためのプログラムである。これを嶺南6市町は支援していく。昨年5月に嶺南6市町の教育長、福井大学、嶺南教育事務所が連携協定を結び、連携協定書に沿って協議を進めている。嶺南地域プログラムを受講している学生は、現在一般入試枠から2名の学生が参加して合計12名であるが、地域枠以外の参加が少ないのが残念であり、これからの課題である。大学からは、履修方法を柔軟に検討し、これからも追加募集をかける予定と聞いている。1年次後期「嶺南地域学A」その中の一つとして嶺南6市町の教育長が1コマ45分の講義をした。2年次「嶺南地域学B」は学生が嶺南6市町に行き、地域体験をする中で学び、嶺南の事を知る。最低2市町は、体験する。内容は、資料にある6プログラム以外に全部で24プログラムある。学生の選択必修プログラムとして、来年度は小浜市の拉致問題啓発講座現場視察が選ばれる予定である。3年次には、決定した教育実習校に事前に出向き(3泊4日)、学校での活動をしながら学んでいく。4年次の教育実習2週間では、宿泊施設に全員寝泊りする。指導案の検討やお互いの教育実習

の情報交換などを行う。このようなことから、3、4年次は経費がかかるため、嶺南6市町で支援する計画である。準備委員会を設け、小浜市は内田課長が準備委員長を務めている。

## 5 その他

- ・成人大学講座11月26日に開催される。
- ・若狭総合公園温水プール使用料の改正について

県条例であるため、本来、教育委員会の承認は必要ないが、今回報告させて頂いた。今後の予定は、11月12日の市議会で報告、福井県へ承認申請したいと思っている。大体1ヶ月ぐらいで承認される予定で、2月号の広報に掲載して周知を図り、来年4月から実施していきたい。

## 委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委 員 山崎正博 教育長職務代理者

委 員 村上郁子 教育委員